

卒業必修	保育士必修	幼稚園教諭必修	選択
授業科目名： 生涯スポーツ・レクリエーションⅠ ナンバリング：1016		単位数：1単位 (半期) 実技	担当教員名：柿沼耕一 担当形態：単独
授業の到達目標及びテーマ 1. 生涯スポーツ、レクリエーションスポーツの各種目を体験し、ルールを理解することができる。 2. 自分が「できる」だけでなくスポーツを通して周りとのコミュニケーションを取ることの重要性を理解することができる。 3. 新しいスポーツに触れる楽しさや難しさを通して、生涯スポーツの意味や重要性を考えていくことができる。			
授業の概要 健康の維持・増進のために取り組むことのできるスポーツを知ること、ならびに「動く」ことに対する人体への関心・理解を深めることを主な目的とする。また、これまで経験してきた運動や運動遊びの様々な発展のさせ方があることを理解し、実際に体験する。さらに、本授業を通して周りとの協力することやコミュニケーションをとることの重要性を身につけ、生涯スポーツ・レクリエーションスポーツとは何かについて考えていく。			
授業計画 第1回：オリエンテーション、アイスブレイク 第2回：体力・形態の測定と評価 第3回：鬼遊び① 第4回：鬼遊び② 第5回：鬼遊び③ 第6回：バドミントン 基礎 第7回：バドミントン 応用 第8回：卓球 基礎 第9回：卓球 応用 第10回：ドッジボール① 第11回：ドッジボール② 第12回：バレーボール 基礎 第13回：バレーボール 応用 第14回：バスケットボール 基礎 第15回：バスケットボール 応用 定期試験：レポート		授業時間外の学習 ・体力、形態測定の方法と原理について学んでおく。(1時間) ・これまで経験した鬼遊びの内容やルールを振り返っておく。(3時間) ・バドミントン、卓球、バレーボール、バスケットボールのルールおよびゲームの展開について学んでおく。(各2時間) ・これまで経験したドッジボールの内容やルールを振り返っておく。(2時間)	
授業の方法 講義(教室)ならびに体育館での実技、グループ対戦。			
テキスト なし(必要な資料は適宜配布する)			
参考書・参考資料等 授業内で適宜紹介する			
学生に対する評価 授業参画度(10%)、授業内での小レポートの提出(30%)、期末レポート(60%)の総合評価とする。			
履修上の注意 運動着と運動シューズ(内履きスニーカー)を持参・着用の上、参加すること。			
実務経験の有無	有	実務経験	元公立小学校教諭・教頭・校長
実務経験を活かした教育内容 小学校における体育授業の指導経験を活かし、楽しいスポーツ・レクリエーションの考え方を理解できるようにするとともに、実際の指導方法を身に付けることができるような授業を展開する。			